

経営基盤の強化

知的財産戦略



企業価値向上に向けた 知的財産投資

加納 優子

キューピー株式会社
執行役員 知的財産室長



サラダとタマゴを中心に食文化の豊かさを広げ、一人ひとりの健康に貢献するため、知的財産・無形資産への投資、創出、活用を効果的に実践し、企業価値の向上につながることを基本方針として活動しています。特に、健康的な食事の提供や栄養の改善、環境に配慮する技術、そして海外展開における知的財産権とブランド価値向上に力を入れています。関係するステークホルダーと連携しながら、創造性を高めることに取り組んでいます。世界の食と健康に貢献し続けるため、外部環境が大きく変化する中においても「しなやかに対応できる力」を、知的財産の創出と活用により高めていきます。

世界における主要商標の取得状況

国際的な競争力の強化と事業の自由度を確保すること、何よりブランドを守り、育てることを目的として、「KEWPIE」「丘比」や「キューピー人形・マーク」などの主要商標の取得や、グローバル特許の取得を積極的に進めています。

進出地域・国と登録商標（例）



商標登録

KEWPIE商標
92の国と地域

人形マーク商標
91の国と地域

※人形マーク商標は、ハラル対応
など各国状況踏まえた商標取得

世界におけるサラダ、卵関連特許の取得状況

	特許の内容			特許保有件数 (2022年度出願に占める割合)
	原料	加工	流通	
 サラダ関連	- 多様な食材利用 - 未利用部活用	- 栄養、低カロリー - 省エネルギー	- 野菜鮮度保持 - プラスチック削減	サラダ関連特許 保有件数 294 件 （出願割合4割）
 卵関連	- プラントベース - 卵殻活用	- 栄養、カルシウム - 加工ロス削減	- 賞味期間の延長 - 乾燥、冷凍	卵関連特許 保有件数 111 件 （出願割合2割）

国際競争

ユニークさを高め国際競争力を強化

目的 安全や品質に関するリスクを低減し、ブランド価値を高める

事例 模造品の体系分けと対応

多様化する模倣品について体系分けを実施し、優先順位を付けて、迅速かつ的確な排除を進めています。

	デッドコピー	リパック	巧妙なすり寄り	すり寄り	非生産品
事例	偽物 真正品		当社ブランドに似せた商標を表記		キューピー人形マークを商品に添付
特徴	そっくりそのまま模造した商品	当社製造ではない少量タイプ	当社品になりすましたもの	デザインの一部を似せたもの	ブランドの無断使用
対応レベル	最優先で対応、排除		権利抵触度と発生規模から「当社の影響度」を予測、対応の優先順位を決定		

サステナビリティ・DX

ステークホルダーとの連携

知的財産室の役割 ユニークな技術を守りながら、持続可能なサプライチェーンに貢献する

事例 野菜未利用部の活用



※ベジレージ：当社登録商標で、野菜未利用部を加工し長期保管可能な発酵飼料に変換したものの。